

会 議 錄

会議の名称	第3回上尾市地域創生総合戦略審議会		
開催日時	令和7年11月26日(水) 10:00~10:59		
開催場所	Web会議(Microsoft Teamsを利用)		
議長(委員長・会長)氏名	上尾市地域創生総合戦略審議会 会長 佐藤 徹		
出席者(委員)氏名	佐藤 徹、根岸 遼、福岡 大介、本田 直子、高橋 吉博、 岸井 良雄、小池 佑弥、島津 秋男、井上 淳子、樋口 敦		
欠席者(委員)氏名	小島 時子、高橋 萌香、益川 昭寿、秋元 宏章、坂田 直人		
事務局(庶務担当)	行政経営部長 堀部 弘幸、行政経営部次長 本郷 美代子 行政経営課長 角田 広高、行政経営課主幹 福島 雅也、 行政経営課副主幹 沢辺 司、行政経営課主任 橋本 香菜子		
会議事項	1 議題	2 会議結果	
	1 開会	報告・説明と質疑応答	
	2 会議の公開について		
	3 議題		
	① 第3期地域創生長期ビジョン及び第3期地域創生総合戦略(案)について ② その他		
4 閉会			
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者	0人
会議資料	別紙のとおり		

議事のてん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和 8 年 / 月 14 日

議長(委員長・会長)の署名

佐藤 徹

議長に代わる者の署名
(議長が欠けたときのみ)

議事の経過

	1 開会 皆様、こんにちは。定刻になりましたので、令和7年度第3回上尾市地域創生総合戦略審議会を開会します。本日の司会を務めます行政経営部次長の本郷と申します。よろしくお願ひいたします。それでは初めにオンライン会議でご協力いただくため、簡単なルールを2つお話しします。まず1点目ですが、発言する方以外は雑音が入らないようにするためにマイク機能をオフにしていただければと思います。2点目ですが、ご発言又はご意見いただく時は、挙手、もしくはリアクションボタンの「挙手」を押し、マイクをオンにしていただき、氏名を名乗り、案内されてから発言するようお願いします。ご協力のほどよろしくお願ひします。 なお、本日は総合戦略の策定の支援をいただいている株式会社コーワエイリサーチ＆コンサルティングの方が同席していることをあらかじめご報告します。
司会 (本郷次長)	2 会議の公開について 次第に沿って進めさせていただきます。次第の「2会議の公開について」です。事務局から説明します。
事務局 (角田課長)	本審議会につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針」に従いまして、同指針策定後の初めての審議会において「原則公開」ということで採択されております。
司会 (本郷次長)	本日傍聴希望者はいますか。
事務局 (角田課長)	傍聴希望者はおりません。
司会 (本郷次長)	それでは、このまま会議を進めさせていただきます。続きまして次第の3に進みますが、条例第5条第2項の規定によりまして、今後の進行は、佐藤会長にお願いいたします。
佐藤会長	3 議題 皆さんおはようございます。それでは次第の「3議題」に入ります。議題(1) 第3期上尾市地域創生長期ビジョン及び第3期上尾市地域創生総合戦略(案)について事務局からご説明をお願いいたします。
事務局 (角田課長)	前回8月20日に開催しました審議会では、人口推計や将来展望人口等を示した長期ビジョンと計画の部分にあたる総合戦略につきましては、体系のイメージと8月20日時点での計画の素案についてご報告いたしました。本日は計画の全体像が固まってまいりましたので、その案をお示しするものでございます。説明の前に資料の確認をさせていただきます。
	<ol style="list-style-type: none">1. 次第2. 資料1 第3期上尾市地域創生長期ビジョン・地域創生総合戦略体系図(案)3. 資料2 第3期上尾市地域創生長期ビジョン・地域創生総合戦略(案)4. 参考資料 R7年度スケジュール
	それでは説明させていただきます。資料1をご覧ください。こちらは第

3期地域創生長期ビジョン・総合戦略体系図の案でございます。前回の審議会の際に佐藤会長からいただいたご指摘等を踏まえまして、前回お示しした体系図のイメージを国の地方創生 2.0 構想と国の方針版総合戦略の策定・効果検証のための手引きに掲載されている構成イメージ図を参考に修正したものです。

資料2の30ページをご覧いただけますでしょうか。こちらに国の手引きで示されているピラミッドの図がございますが、こちらを参考に修正しております。資料1を改めてご覧いただきますと、左から「長期ビジョン」「基本目標・数値目標」「基本的方向」「施策」の順で記載しております。基本目標については、現行の計画と変わらず3つの基本目標を置き、それぞれの基本目標内の施策内容を大まかにまとめた基本的方向を文章で記載しております。基本的方向の下に施策を2個ないし4個置いております。なお、現在国が掲げている「デジタル技術の活用」と「官民連携」については、全ての施策に関係するものという整理しております。

それでは次に資料2「第3期上尾市地域創生長期ビジョン・第3期上尾市地域創生総合戦略（案）」をご覧ください。前回の会議では長期ビジョンについてお示ししましたが、総合戦略については総合計画も検討段階であったため、総合戦略の地域ビジョンまでの案をお示してきました。今回全体像が固まってまいりましたのでご説明いたします。しかしながら、前回の会議が8月20日でございましたので、長期ビジョンについても何点か修正を加えましたのでご説明させていただきます。冊子のページで説明させていただきます。

5ページをお願いします。こちらに(1)総人口と世帯の推移ということでグラフがありますが、令和7年10月1日現在の実績がわかりましたので、令和7年の実績を追記し、令和2年の実績を削除しております。

6ページをお願いいたします。(2)年齢3区分別人口の推移ですが、こちらも先ほどの5ページと同じように令和7年の実績がわかりましたので、平成28年から令和7年のグラフとしております。

8ページをお願いいたします。(2)合計特殊出生率の推移のグラフです。前回は平成26年から令和5年のグラフになっておりましたが、令和6年の実績がわかりましたので、令和6年を追記、平成26年を削除し、平成27年から令和6年のグラフとしております。

9ページをお願いいたします。(3)母の年齢5歳階級別出生率です。こちらは令和5年の実績が載っておりましたが、令和6年の実績がわかりましたので、修正しております。

14ページをお願いいたします。こちらは新たに第3章として17ページまで経済と就業の動向を載せております。国の地方創生 2.0 構想に経済の状況についての記載があるため、本市における経済と就業の動向を追加したものでございます。

18ページをお願いいたします。第2期上尾市長期ビジョンにおける推計結果と実績値の比較でございます。こちらのグラフですが、新たに令和7年の実績がわかりましたので、追加しております。

19ページをお願いいたします。社人研準拠推計でございます。こちらについては、令和2年を削除し、令和7年の実績を載せております。

21ページをお願いいたします。低位推計と中位推計ですが、先ほどの19ページと同じように令和7年の実績に置き換えて令和2年を削除しており

ます。22 ページの高位推計も同じです。

続きまして 23 ページをお願いいたします。ベース推計及びシミュレーション結果です。こちらにつきましては令和 2 年の数値を削除しております。

最後に 24 ページをお願いいたします。令和 7 年の実績値で再推計し、展望人口が前回お示しした資料では 19 万としておりましたが、19 万 3 千人としております。

以上が長期ビジョンの前回から変更した部分でございます。

それでは、戦略の部分の説明に移らせていただきます。まず大まかな構成をお示ししますが、27 ページのはじめにのところは、策定の背景と目的を示しております。前回は国のデジタル田園都市国家構想総合戦略までしか触れておりませんでしたが、今回地方創生 2.0 構想についても記述しております。28 ページについては変更ございません。

続いて 29 ページ、30 ページですが、前回の資料ではデジタル田園都市国家構想総合戦略の概要について記載しておりましたが、今回は国の地方創生 2.0 構想の概要を記載しております。

続きまして、31 ページと 32 ページには、第 2 期上尾市地域創生総合戦略の評価について新たに記載しております。33 ページの地域ビジョンについては、変更はございません。34 ページからが第 3 章「基本目標と重点施策」ということで、今回新たにお示しするものでございます。こちらが戦略部分の全体像ですが、これから個別にご説明いたします。

それでは、29 ページ、30 ページをご覧ください。先ほど申し上げましたとおり、上尾市の第 3 期総合戦略につきましては、国の地方創生 2.0 構想を参考に作成しておりますので、国の構想の概要を記載しております。また 31 ページ 32 ページには先ほどご説明したとおり、現在の第 2 期戦略の評価についても記載しております。なお、第 2 期戦略の評価のところですが、32 ページの部分には、最終年度の令和 7 年度の欄を記載しておりますが、次期戦略は今年度策定しますので、令和 7 年度の結果を載せることができません。従いまして、32 ページの表題にありますとおり、令和 6 年度の進捗状況までを記載し、令和 7 年度の欄は削除する予定でございます。また、地方創生 2.0 構想ですが、現在国の方で、「地域未来戦略」として見直す方針が出ております。それによって内容が大幅に変わるようであれば、この国の計画部分の記載の変更を後日行うことになる可能性もございます。国の見直しが遅れるようであれば、一旦は地方創生 2.0 構想に基づいて、上尾市の第 3 期総合戦略を策定しまして、次年度以降、必要に応じて計画の修正・変更を行うことも考えられますのでご承知おきください。

それでは、繰り返しになりますが、現時点では地方創生 2.0 構想に基づいて上尾市の総合戦略を策定してまいりますので、その前提で説明を続けていただきます。地方創生 2.0 構想では、「自然増・社会増を促す施策として、子育て支援や移住促進などが中心となり、地方公共団体間での人口の奪い合いに繋がった」という反省が述べられております。それらを踏まえまして、地域を魅力的にすることにより、若者や女性の都市圏への流出を止めることを目指すとされております。そのため今回の国の政策パッケージでは、子育て施策の比重が少なくなっています。地域経済の重点を移し、人口の流出を防ぐ施策に主眼を置いたものが多く載せられております。34 ページをご覧ください。先ほど申し上げましたようにここから 40 ページまでが基本目標ごとに「基本的方向」「数値目標」「主な取組」「KPI」を記載しております。指標や主な取組については、全庁照会を行い、その結

果を反映させております。指標については、全庁照会した結果の中から、目標1つに対して数値目標を1個もしくは2個、施策1つに対してKPIを2個もしくは3個設定するようにしております。なお、数値目標については、5年に1度、KPIについては、毎年度進捗管理することを想定しております。なお、34ページの第3章の表題が「基本目標と重点施策」となっておりますが、30ページの構成イメージをご覧いただきますと、具体的な施策となっておりますので、「重点」をとりまして、「施策」という形に修正させていただきます。

それでは、各施策につきまして順に説明いたします。34ページの基本目標1「活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」施策1「地域経済の活性化」でございます。市民意識調査と定住アンケートのいずれの調査におきましても、通勤・通学している人のうち、上尾市内に通勤・通学していると回答した人の割合が約30%と多くなっていることから、市内で働く環境の充実を支援するため「主な取組」として、「創業しやすい環境づくり」「企業立地の誘致促進、土地利用の検討」「農地の維持・活用」を載せております。そのため、「創業支援事業を活用した創業者数」と「地域計画における目標地図の完成率」をKPIとしております。

次に35ページ、施策2「地域資源の活用」でございます。こちらは国の地方創生2.0構想の政策パッケージに農林水産物・食品、文化・芸術、自然環境など地域資源を最大限活用する観点として、「地域資源の高付加価値化」が記載されていることから、本市におきましても、地域資源の活用を新たな施策とし、主な取組として「農産物や特産品の知名度向上」「市民が気軽に文化・芸術に触れられる環境づくり」などを載せております。そのため、「ふるさと納税の寄附額」と「あげお文化遺産ガイドのアクセス数」をKPIとしております。

34ページに戻っていただき、基本目標1「活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」の施策1、施策2の全体を表す数値目標として、担当課との調整により基本目標1の数値目標と施策1のKPIの部分で修正がございますのでご説明いたします。数値目標ですが、事前にお配りしたものでは、「業況が良い・普通と感じていると回答した人の割合」となっておりますが、回答者を明確にするため、「業況が良い・普通と感じている市内商工業者の割合」に修正し、基準値を「60.5%」としております。なお、目標値の「60.5%」に変更はございません。また、施策1「地域経済の活性化」のKPIの2つ目、「地域計画における目標地図の完成率」について用語の説明を表の下に追加しております。以上が基本目標1でございます。

続きまして36ページをご覧ください。基本目標2「魅力があり、安心して暮らすことができるまちづくり」でございます。基本目標2では施策を4つ設定しております。まず施策1「健康づくりの推進」については、市民が地域で健康に暮らし続けることができるよう取組を推進するため、前計画から引き続き、「市民が心身ともに健康に過ごすことができる環境づくり」「高齢者の介護予防の推進や健康づくり」を主な取組としております。そのため、「あげお健康ぷらす登録者数」と「要介護支援認定率」をKPIとしております。

続きまして36ページの下、施策2「防災力の向上と防犯力の強化」でございます。防災力の向上につきましては、現在の戦略でも施策の1つとなっており、国の地方創生2.0構想でも地域防災力の強化について記載されていることから、「地域防災力を高めるための支援」「災害援助復旧体制の確立」を主な取組としております。そのため、「防災士の育成人数」と「災

害時応援協定の締結数」を KPI としております。防犯につきましては、現行の戦略では記載しておりませんが、国の地方創生 2.0 構想の政策パッケージで「地域の防災力の強化」が記載されていることから、防災力の向上と合わせて、「市民一人ひとりの防災意識・防犯意識の向上」として加えております。

続きまして 37 ページ、施策 3 「持続可能な住環境の整備・維持」をご覧ください。定住アンケートの自由意見では、道路・交通に関する意見が最も多く、中でも道路につきましては、道路の凸凹、拡幅、歩道、渋滞、街灯という意見が多かったことから、新たに「計画的な公共インフラの整備・維持」を入れております。また、バスが少ないという意見も多かったため、現行の戦略に引き続き、「持続可能な公共交通サービスの維持・充実」を主な取組としまして、KPI も「市内循環バス「ぐるっとくん」の利用者数」を設定しております。さらに国の政策パッケージで、地域の再生可能エネルギーなど環境に関する政策が掲げられていることなどを踏まえ、「再エネ・省エネの推進」「脱炭素型まちづくりの推進」を主な取組とし、KPI として「世帯当たりの太陽光発電設置割合」を設定しております。

38 ページ、施策 4 「イベント、スポーツ・レクリエーションの充実」でございます。現行の戦略でもスポーツ・レクリエーションの充実は政策の 1 つとなっており、引き続き、お祭りなどのイベントや上尾シティハーフマラソンなどスポーツ・レクリエーションを充実させ、本市の魅力の向上を図るため、「多くの人が参加しやすいイベントの開催・周知」「誰もがスポーツ・レクリエーションを気軽に親しめる環境づくり」を主な取組としております。そのため、「イベントカレンダーアクセス数」と「各種スポーツ大会、体験会等の参加者数」を KPI としております。

36 ページに戻っていただいて、基本目標 2 「魅力があり、安心して暮らすことができるまちづくり」の全体を表す数値目標として、「上尾市が住みよいまちだと思う人の割合」を設定しております。

39 ページ、基本目標 3 「明日を担う人が育つまちづくり」でございます。施策 1 「子育て世代に選ばれる環境づくり」をご覧ください。定住アンケートにおいて、40 代以下の転入者が 78%、そのうち子どもがいる世帯が 26% という回答結果でございました。上尾市は若い世代が転入してきており、そのような若い人たちの定住を促進するため、先にもご説明したとおり、国が子育てについて言及を少なくしている中でも、引き続き本市では、基本目標の 3 として子育て施策を入れてまいります。主な取組として、「保育所等、こどもを預けられる環境の整備・充実」「学校と地域住民等の連携による地域に愛着を持つ人材の育成」などを挙げております。そのため、「保育所待機児童」「保育施設利用申込の電子申請率」「学校運営協議会の開催回数」を KPI としております。

40 ページ、施策 2 「関係人口の活用」をご覧ください。現行の戦略に引き続き、SNS 等を活用した情報発信等を主な取組をしている他、国の政策パッケージで関係人口の量的拡大・質的向上を図ることが掲げられていることから、本市においても国との連携を取組の 1 つとしております。KPI としては、「SNS のフォロワー数」「ふるさと納税の寄附者数」しております。39 ページに戻っていただいて、基本目標 3 の数値目標としましては、「上尾市が子育てしやすいまち・どちらかといえばしやすいまちだと思う人の割合」としております。

最後に 41 ページをご覧ください。合わせて資料 1 の体系図もご覧ください。こちらには戦略の推進方法、進捗管理、進捗管理の体制について記載

	ております。「1. 推進方法」の中で、各施策にまたがる「デジタル技術の活用」や「産官学金労言士」といった官民連携についても記載しております。長くなりましたが、説明は以上でございます。
佐藤会長	ありがとうございました。ただいまの事務局の説明について委員の皆様からご意見ご質問などございましたらお願ひいたします。それでは小池委員どうぞ。
小池委員	37 ページ目の施策 3 「持続可能な住環境の整備・維持」の中で、重要業績評価指標が 2 つ書いてあると思いますが、ここで質問したいのが、前回の計画で「ぐるっとくん」の利用者数は令和 6 年度時点でも同じ KPI が立てられていて、未達成になっているのに、さらに目標を増やしているということに妥当性があるのかを 1 点お聞かせいただきたいのと、その下の「太陽光発電設置割合」というのが、できるだけ人口減少を抑制していく目的でたてられている計画というのを踏まえると、この KPI よりはインフラの整備・維持の KPI をたてたほうがいいような気がするのですが、そもそもなぜこの KPI にしたのか分かれば教えていただきたいと思います。
佐藤会長	ありがとうございます。2 点、事務局からリプライいただけますか。
事務局 (福島主幹)	まず、「ぐるっとくん」の関係ですが、こちらは今年度からバスの本数を増やして、見直しを行っているところです。また、本市において、バスの取組については、公共交通機関の中心的な位置づけでもありますので、現在目標値に達しておりませんが、バスのロケーションシステムなど新しい取組も行っておりますので、指標の 1 つとして設定しているところでございます。太陽光発電については、国の地方創生 2.0 構想の政策パッケージで、環境についても戦略に取り入れだした面もございます。移住などの関係から考えますと太陽光発電などの環境分野については、関連性がないように思われますが、一方で戦略の中で環境分野の取組を入れていないと補助金の採択に影響するなどもありますので、KPI に設定したということがあります。インフラの関係についても、施策として今回新しく入ってきた部分で、以前の戦略ではあまり取組として触れられていなかったですが、総合計画と同じようにインフラも含まれてきたため、取組としては KPI にすることも考えられます。しかし、インフラの整備の KPI ですと下水道や水道の設置率や普及率ということになりますが、ほぼ達成している指標を置くのが困難ということがあります。また、道路に関する道としてはほとんどできているため、その補修などを指標としてどのように表すかということが相当難しいところもありまして、今回は KPI としては置いていないということです。施策としては、インフラの整備は市の大きな業務の 1 つですので、水道・河川・道路については、総合計画でも位置付けており、しっかりと行っていきたいと考えております。
小池委員	よくわかりました。ありがとうございます。
佐藤会長	では他の委員いかがでしょうか。樋口委員お願いします。
樋口委員	34 ページからの施策の部分について全体的なところでお伺いしたいのですが、基準値について括弧書きで「何年度」と書いてあるものと書いて

	いないものがあると思いますが、これの違いを教えていただけますでしょうか。
事務局 (福島主幹)	34 ページの最初の基本目標の題目のところで、4 行書かれていると思いますが、その下から 2 行目に「原則として令和 6 年度の実績値」とさせていただいております。同じページの創業支援のところは令和 6 年度の実績だけですと、年度ごとに数字が変わるため、あえて平均の人数を置いており、令和 6 年度の実績を置いていない部分だけこのように記載しております。
樋口委員	例えば 35 ページの KPI の「あげお文化遺産ガイドのアクセス数」が令和 3 年度、先ほどお話のあった「太陽光発電設置割合」の部分では令和 2 年 3 月時点とかなり古い基準のものがあると思いますが、こちらについては、直近の数値が出せないのでしょうか。
佐藤会長	事務局いかがでしようか。
事務局 (福島主幹)	「あげお文化遺産ガイドのアクセス数」は、このホームページを始めた最初の年を基準にしたものです。「太陽光発電設置割合」は、環境の指標というのが 2 年ほど遅れて出てくるものが多く、最新の情報が取れていなかったということで、令和 2 年 3 月の数値を置かせていただいておりますが、改めて担当課に確認させていただきます。
樋口委員	事情があるということであればしょうがないとも思いますが、そうなった時に、年度ごとに進捗状況を確認することも難しくなると思いますが、いかがでしようか。
事務局 (福島主幹)	数値が毎年でないものは、難しいとは思いますが、数年遅れて数字が出る場合は、進捗管理できると考えております。今回次期戦略の策定についてご説明させていただいておりますが、今後の評価の仕方についても、現在検討しているところでありまして、後日改めてご説明したいと思いますが、ご指摘のとおり今の段階で指標が置けないということになりますと、今後の評価にも関わってきますので、改めて確認させていただきたいと思います。
佐藤会長	樋口委員よろしいでしようか。
樋口委員	わかりました。ありがとうございます。
佐藤会長	他の委員はいかがでしようか。 関連で私の方からも少しコメントさせていただきたいと思います。KPI について、今回このような形で設定されていまして、特に「何々の割合」あるいは創業者数というような「率」であったり「実数」であったりするわけですが、特に「率」の場合、つまり割合というのは分母と分子があり、どのように算出するかという算出式がここには示されておらず、もう少し丁寧な表記があってもいいのではないかと思う。他の自治体ではそのようなものも見かけられますので、検討いただきたいと思います。例えば、それ以外にもこの指標の元となる典拠ですね。何らかの調査が行われるよ

	<p>うな場合もあると思います。最初の基本目標 1 の KPI で「業況が良い・普通と感じている市内商工業者の割合」というのは、おそらく何らかの調査があるだろうと思います。調査名を書いていただくと後でその関連のデータを確認するときに市民の皆さんも非常にわかりやすいというところがあるので、ぜひ検討いただければと思います。他にも KPI 関連でいうと、目標値に関して数字だけ書いてあるのですが、これがなぜこの数字なのかというのが、これだけでは推論の域を出なくて、なぜ 60.5%なのか、なぜ 14,000 件なのか設定根拠が本来示されるべきですが、書いていないので、ここも検討いただきたいと思います。目標値というのは、科学的に決まるわけではないので、例えば最低限クリアしないといけないようなレベルのものなのか、あるいはかなりチャレンジングなターゲットなのかによっても目標の意味合いが変わってきます。つまり、その目標にどれだけ近づいたかどうかと言っても、いま言ったように挑戦的な目標か、最低限クリアしないといけない目標かによってもずいぶん変わってきますので、その設定根拠が示されないままですとこの辺りが曖昧になってしまいます。今回のこの総合戦略ではぜひ示していただければ議論しやすくなると思います。</p> <p>他の委員の皆様からご意見やご質問等はございませんでしょうか。 樋口委員お願いします。</p>
樋口委員	<p>39 ページの子育て世代に選ばれる環境づくりの KPI の部分で、「学校運営協議会の開催回数」というのが私も学校運営協議会の委員になっていて、これがおそらく主な取組の「学校と地域住民との連携による地域に愛着を持つ人材の育成」の部分のところに繋がるものだと思いますが、会議を多く開催したところで直接繋がるものなのかと疑問に思ってしまったので、設定した根拠を教えていただければと思います。</p>
事務局 (福島主幹)	<p>「学校運営協議会の開催回数」はおっしゃる通り「学校と地域住民との連携による地域に愛着を持つ人材の育成」に関連するところでございます。今回「地域に愛着を持つ」というところが、国の計画の中でも大きく取り上げられている部分でありまして、先ほどの説明にもありましたが、前回の国の計画では、市町村間での人口の奪い合いが起きたことが一番の問題ということで、今回の国の戦略では、自分の地域から都会に出でていかないように、地域に愛着を持った人々を育てたいということが国の方針として掲げられています。その中で国が挙げているのが、学校と地域の人達が会う機会や協力する機会を多く持つことで、こどもたちが学校だけでなく地域にも興味を持っていくのではないか、ということを述べているというところもありますので、単純に回数だけでいいのかというご指摘の部分もあるかとは思いますが、そういった機会を増やすという意味において、回数ということで設定をしたところでございます。</p>
佐藤会長	樋口委員いかがでしょうか。
樋口委員	納得はできないですが、そういうことであればと思いますが、学校運営協議会と言っても 1 年間同じ委員でやるわけですから、その機会が増えたところであまり変わらない気もしました。
佐藤会長	確かにそうですね。「学校運営協議会の開催回数」は基本的にはアウトプ

	<p>ット指標になります。ここではアウトカム指標が設定されるべきですね。重要業績評価指標はアウトカム指標ですから、学校行事への延べ参加者数などがよろしいのではないでしょうか。そのへんご検討いただきたいと思います。</p> <p>小池委員お願いします。</p>
小池委員	<p>40 ページの施策 2 「関係人口の活用」のところですが、これもおそらく地方創生 2.0 構想で関係人口の話があるので、それを反映した形で記載がされているとは思うのですが、元々この項目は魅力の発信のところで、KPI がフォロワー数だったと思うのですが、関係人口の活用で KPI が同じというのはこの関係人口をどのように使おうとしているのか何かあるのでしょうか。単純に地方創生 2.0 構想に書いてあったからそのまま入れこんだような感じに見えてしまうのですが、解説をお願いしたいと思います。</p>
佐藤会長	事務局お願いします。
事務局 (福島主幹)	<p>元々は魅力の発信の項目にありましたが、関係人口について国の方でも関係人口を広げていくことにより、上尾市に興味を持って、遊びにくるとか、イベントに参加する人を増やし、最終的には上尾市に住む人を増やそうという前提でこの施策が置かれています。そのため、まずは上尾市の情報を探していくということで、関係人口のところに入れてあるというところでございます。</p>
小池委員	<p>ということは、SNS のフォロワー数の属性は、市内の人ではなく市外の人というイメージでしょうか。</p>
事務局 (福島主幹)	<p>SNS のフォロワー数は、市内か市外という把握ができないと思いますが、実際 SNS のフォロワー数も伸びていますし、定住アンケートなどに関しても、市の SNS を見て情報を得た上で転入してきたという方もいらっしゃるので、そういう意味で市内外に対しての情報発信ということで設定しています。</p>
佐藤会長	<p>他はいかがでしょうか。今回総合計画の改定と同時並行で総合戦略のほうも改定されているわけですが、今回資料 1 で挙げられている施策が 8 本ありますが、これは現在改定中の後期基本計画の施策の中の一部と考えてよろしいのでしょうか。</p>
事務局 (角田課長)	<p>基本的には、総合計画に書かれているものでございますが、関係人口の活用等、一部総合戦略であえて触れているところもございます。概ね全ての項目につきましては、何かしら総合計画には触れられているところでございます。</p>
佐藤会長	関係人口の活用は、後期基本計画には記載がないのですね。
事務局 (角田課長)	特出しするような形ではないということです。
事務局	例えば先ほどの SNS についても事業として総合計画に載ってはいるので

(福島主幹)	ですが、総合計画とは施策の括り方が異なりますので、総合計画に載っている事業を総合戦略に合わせて違う括り方をしている部分もあります。
佐藤会長	総合計画と総合戦略の内容に重複があるわけですよね。そうすると総合計画と総合戦略の進捗管理・評価も重複する部分があると思うのです。総合戦略の進捗管理・評価は当審議会で行われていますが、総合計画の進捗管理・評価との関係はどうなっているのでしょうか。
事務局 (福島主幹)	総合計画の進捗管理については、現在のやり方を変える方向で、新たな行政評価の形を検討しているところではありますが、行政評価の中では、できるだけ個別の事業について指標を設定して、個別に見ていく予定であります。総合戦略につきましては、基本的方向に沿った数値目標を軸にして、それぞれKPIを置いておりますので、その単位で進捗管理をしていく予定であります。ただ、その方法については、まだ決まっていない部分もありまして、ご指摘のあるとおり、どうしても重複する部分がございますので、それぞれ基本的方向の単位ごとに進捗管理できるように工夫していくたいと思っております。
佐藤会長	<p>総合計画の進捗管理・評価に行政評価制度を活用するということは、内部評価（自己評価）で完結するということですね。一方、総合戦略は、内部評価もあれば、内部評価の妥当性を評価する本審議会による外部評価もあるという理解でよろしいでしょうか。同じような事務作業を重複しないように役割分担できると業務量も減らせるのではというコメントです。</p> <p>他にご質問ご意見、お気づきの点等ないようでしたら、本件につきましては、終わりにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。それでは（2）その他ですが、事務局から何かございますか。</p>
事務局 (角田課長)	参考資料の令和7年度スケジュールをご覧ください。本日お示しした第3期地域創生長期ビジョン第3期地域創生総合戦略につきましては、本日いただいた意見も検討させていただいて、この後12月に市民コメントを行い、市民コメント結果を踏まえて2月に第4回会議を行いたいと考えております。それをもって年度末の策定を目指してまいりたいと考えております。説明は以上でございます。
佐藤会長	ありがとうございました。その他につきまして事務局からご説明いただきましたが、この点につきましてはよろしいでしょうか。特にご意見等がなければ、以上をもちまして議事を終了したいと思います。進行は事務局にお返しいたします。
司会 (本郷次長)	佐藤会長ありがとうございました。委員の皆様も慎重なる審議またご意見を賜りましてありがとうございました。それでは最後に本田副会長からご挨拶をお願いしたいと思います。
本田副会長	【閉会あいさつ】
	以上